

価格転嫁を要するも、需要停滞を懸念

物価高騰が家計を圧迫、消費マインドは低下し業況も悪化

～景況DI値は、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス15.8～

* DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 12月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のマイナス5.2、前年同月比21.0ポイント低下のマイナス15.8。非製造業では、前月比21.0ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比15.8ポイント低下のプラス5.2。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比10.4ポイント低下のマイナス5.2、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス5.3。非製造業では、DI値前月比5.3ポイント低下のプラス36.8、前年同月比同水準のプラス57.9。

収益状況 製造業では、DI値前月比21.0ポイント上昇のマイナス21.1、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス36.8。非製造業では、前月比26.4ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比15.8ポイント低下のプラス5.3。

資金繰り 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス21.1、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス15.8。非製造業では、前月比15.8ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比5.2ポイント低下のプラス5.3。

雇用人員 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス5.2、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス26.3。非製造業では、前月比5.2ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比5.2ポイント上昇のプラス5.2。

景況 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のマイナス31.5、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス26.3。非製造業では、前月比21.1ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比同水準のマイナス5.2。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比7.9ポイント低下のマイナス18.4、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス15.8となった。製造業では、依然として原材料、光熱費等の高止まりが継続しており、収益状況は前月比、前年同月比ともにマイナスで推移するなど厳しい状況が続いている。非製造業では、大型連休となる年末にかけ人流が増加し、観光、宿泊関連では賑わいを見せたものの、食料品等を中心とする物価高騰により消費者は家計を圧迫され、消費マインドの低下につながっており、前月比で業況は悪化した。県内景況は、全業種で原材料等仕入れ価格の高騰が継続しているうえ、最低賃金上昇による経費負担の増加が収益を圧迫するなど厳しい状況が続いている。また、経費負担の増加に伴い販売価格への価格転嫁が必要となるも、需要の停滞を引き起こす懸念が生じて踏み出せず、状況は引き続き厳しい。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

12月の全国倒産は、件数848件で、（前年同月806件、5.2%増）と、32カ月連続で前年同月を上回り、連続増加期間は1990年10月-1993年4月（31カ月）を超えて過去最長となった。負債総額は2100億7600万円（前年同月1015億400万円、107.0%増）と、負債50億円超の大型倒産が複数発生し、2024年で2番目に大きい額となった。

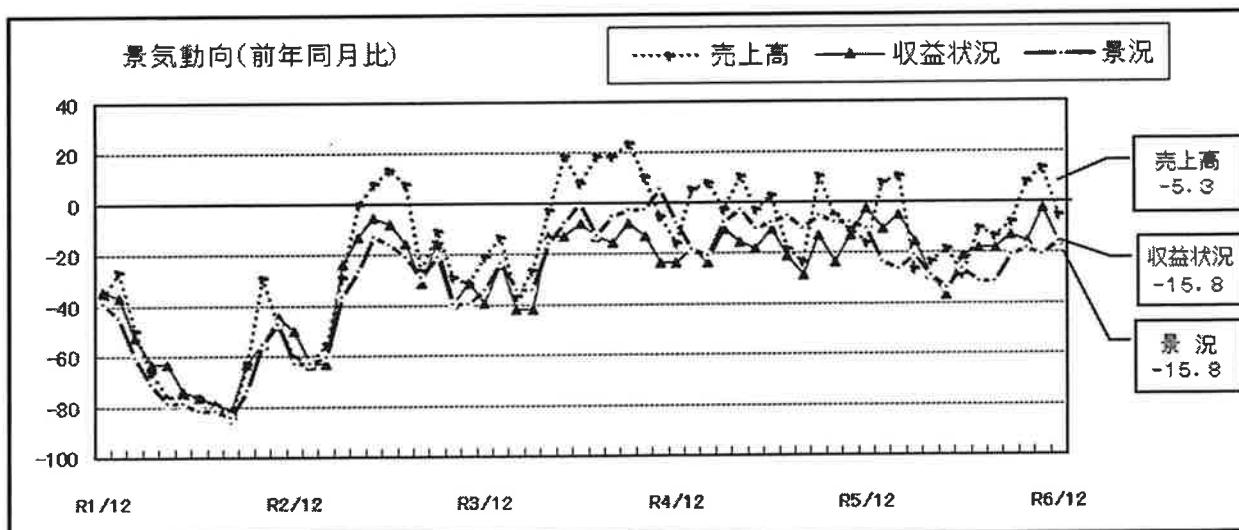
一方、12月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数2件（前月5件）、負債総額は2億3600万円（前月12億5700万円）で、業種では、卸売業、小売業が各1件、主因はいずれも販売不振となっている。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報11月分」）

鳥取県の11月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.29倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.25倍）で、前月より0.01ポイント上回った。各所別有効求人倍率（原数值）では、鳥取所1.22倍、米子所1.48倍、倉吉所1.29倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.32倍（季節調整値）で、前月より0.04ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比0.8%増加し、有効求人数は1.5%減少となった。産業別に前年同月で比較すると、運輸業・郵便業（42.2%）、建設業（18.0%）、公務・その他（16.8%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比0.9%減少、有効求職者数は前年同月比1.6%減少となった。パートタイムの有効求人倍率（原数值）は1.21倍で、前年同月比で0.01ポイント上昇、新規求人数は前年同月に比べ0.2%増加した。



12月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	21.1%	26.3%	-5.2 5.3	26.3%	31.6%	-5.3 -21.0	23.7%	28.9%	-5.2 -7.8
(2)在庫数量	5.3%	21.1%	-15.8 -31.6	25.0%	8.3%	16.7 8.3	12.9%	16.1%	-3.2 -16.1
(3)販売価格	5.3%	10.5%	-5.2 -10.4	42.1%	5.3%	36.8 -5.3	23.7%	7.9%	15.8 -7.8
(4)取引条件	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	0.0%	0.0 -5.3	0.0%	0.0%	0.0 -2.6
(5)収益状況	10.5%	31.6%	-21.1 21.0	10.5%	15.8%	-5.3 -26.4	10.5%	23.7%	-13.2 -2.7
(6)資金繰り	0.0%	21.1%	-21.1 0.0	5.3%	5.3%	0.0 -15.8	2.6%	13.2%	-10.6 -8.0
(7)設備稼働度	21.1%	10.5%	10.6 15.8						
(8)雇用人員	5.3%	10.5%	-5.2 0.0	10.5%	0.0%	10.5 5.2	7.9%	5.3%	2.6 2.6
(9)景況	5.3%	36.8%	-31.5 5.3	15.8%	21.1%	-5.3 -21.1	10.5%	28.9%	-18.4 -7.9

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	26.3%	42.1%	-15.8 -21.0	26.3%	21.1%	5.2 -15.8	26.3%	31.6%	-5.3 -18.5
(2)在庫数量	10.5%	21.1%	-10.6 -10.6	16.7%	0.0%	16.7 -8.3	12.9%	12.9%	0.0 -9.7
(3)販売価格	15.8%	21.1%	-5.3 -5.3	57.9%	0.0%	57.9 0.0	36.8%	10.5%	26.3 -2.6
(4)取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 -10.5	0.0%	7.9%	-7.9 -5.3
(5)収益状況	0.0%	36.8%	-36.8 -10.5	21.1%	15.8%	5.3 -15.8	10.5%	26.3%	-15.8 -13.2
(6)資金繰り	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3	15.8%	10.5%	5.3 -5.2	10.5%	15.8%	-5.3 -5.3
(7)設備稼働度	10.5%	26.3%	-15.8 -15.8						
(8)雇用人員	5.3%	31.6%	-26.3 -5.3	10.5%	5.3%	5.2 5.2	7.9%	18.4%	-10.5 0.0
(9)景況	0.0%	26.3%	-26.3 10.5	21.1%	26.3%	-5.2 0.0	10.5%	26.3%	-15.8 5.3

* D I とは、ディファージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ LPG や電気代等光熱費の高止まりに苦慮している。円安基調により輸出について好調である。

醤油⇒ 味噌・醤油の業界は、国内の落ち込みを輸出でカバーしている状態。全体としては前年並みの実績であった。特に北米、欧州向けが伸長している。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 暖冬に加え、百貨店のセールとなる12月以降を待つ顧客が多く、冬物の動きは鈍かった。賃上げは進んでいるものの、賃上げに伴う価格転嫁は不十分な状況。円安による輸入物のコストアップが需要の減少につながっている。

ニット製品⇒ 実用品（下着類）以外の衣料品消費は低調に推移している。製品輸入量も円安ながら減少してはおらず、相変わらず供給過剰であり、国内メーカーは受注量確保に苦戦している。

【家具装備品】

⇒ 物価高騰等の影響により運送コストをはじめとする経費負担の増加が続いている。業況は厳しい。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比、前年同月比ともに減少、製材品の生産量は前月比で微増、合板の生産量は前月比で微増となった。製材品、合板の需要動向は鈍いままで、配送のトラック不足も併せた荷動きは10月、11月と比較し低迷した。併せて価格も11月以降は軟調で安値が続いている状況。今後採算改善に向けて不足感のある材の選定や配送料を加味し、底打ちから値上げに向けた取り組みが必要となっている。プレカット加工の稼働率は前月比20%増加、前年同月比は5%増加で推移した。

【紙・加工品】

和紙⇒ 円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比で同水準、前年同月比で増加となった。業況は引き続き厳しい。

【印刷】

⇒ 鳥取県の印刷業界は、12月は売上が20%増加したものの、案件数や納品物件数には大きな変動がなく、主に部数増加が影響している。紙の仕入れ価格が15%上昇し、価格転嫁の難しさが課題となっている。一方デジタル化の進展によりデータ作成が増え、効率化が進む半面、大ロット印刷需要が縮小している。地域では看板やTシャツプリントのようなネット注文を取り入れた企業が成長を見せており、新たな戦略が業界全体に求められている。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 12月の生コン出荷量は、前月比で約18%増加、前年同月比で約1%増加となった。東部地区では依然昨年夏の豪雨に係る災害復旧工事案件が多く見受けられるが、少量出荷や遠方の現場が多い上に大型案件が少なく仕事量と見合

っていない。災害復旧工事はピークを過ぎた感があるため、今後は前年同月比で減少が見込まれる。中部地区では9月以降3か月連続で前年同月比を上回っていたが、12月は前月比、前年同月比で100%を割り、今後も低調に推移する見通し。西部地区では受注は年度当初低調であったが、9月以降4か月連続で前年同月比を上回る動きを見せた。業界として、若手人材の確保に苦慮している。

【金属製品】

金属加工 ⇒ 建築関係は、県内物件は少なくなっている。今後の見積案件も少なく、厳しい状況が続いている。機械加工は、年末に組合員1社が倒産し、今後組合への影響が懸念される。また、なんとか凌いでいた自動機関連の仕事も減っているうえ、自動車関連の受注はまだなく、状況は引き続き厳しい。

鉄骨加工 ⇒ 県内、公共物件、民間工事の見積依頼物件数は引き続き少ない状況が続いている。各鉄骨製作業者同士の加工協力体制と手持ち案件の物件を調整維持しながら工場稼働率をなんとか保っている状況。県外民間物件の見積依頼が多い業者も見受けられるが、受注金額は低価格化が散見される。品質を下げるわけにもいかないため、採算度外視の受注は避けるように警笛を鳴らし続ける必要性が高まっている。

金属熱処理 ⇒ 各社の受注状況は引き続き厳しいが、一部の顧客で航空機、エネルギー関係部品に若干受注増の動きがみられる。全体的には金属加工業界は決して良い状態ではなく、1月以降も同様である見通しであり、その結果、熱処理業界も厳しい状態にある。電力をはじめとするエネルギーや副資材の価格は高止まつたままであり、利益が出にくい状況が続いている。

【電気機械器具】

⇒ 依然業界は低迷したままである。年内の回復は見込まれず、年度内の回復も不透明なままである。設備投資も低迷しているうえ、人材不足は深刻化している。賃金の上昇は避けられず、原価の上昇により利益確保が困難な状況となっている。

非 製 造 業

【卸売業】

東部地区 ⇒ 青果関係では、売上高は前月に続き葉物野菜を中心に単価の上昇により前月比、前年同月比ともに大きく増加している。取扱数量は単価の上昇を受け消費流通が悪化し前月比、前年同月比ともに減少となった。鮮魚関係では、売上高、取扱数量ともに減少している。前年同月比では、取扱数量は大衆魚を中心に増加したもの、売上高は単価の低下によって減少している。受注は例年並みには戻っていないうえ、仕入価格は上昇しており、収益確保に苦慮している。

中部地区 ⇒ 販売先の小売顧客は引き続き人材不足が深刻化しているうえ、高齢化や定着率の低下に苦慮している。

西部地区 ⇒ 食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。人材確保が難しくなってきているうえ、最低賃金の上昇による人件費上昇が懸念されている。日銀の利上げにより各金

融機関の貸出の利上げ基調が強まってきており、今後の影響が危惧される。

水 産 物⇒ 12月は荒天が続き、巻き網船の稼働が極端に低下したことに加え、年末年始向けのブリの水揚げも少なく師走としては非常に寂しい月となった。松葉ガニは雌ガニ（セコガニ）が比較的豊漁であったものの、雄ガニ（松葉ガニ）は時化の影響もあり十分な供給とはなっていない。紅ズワイガニは昨年に比べ水揚げ量が8割程度にとどまり、前述の松葉ガニの不足感から鮮魚用の上物は高値となり、年末年始用の需要から加工用も浜高で推移した。

リサイクル原料⇒ 中国系企業の進出により受注獲得に苦慮している。売上高は前月比、前年同月比ともに同水準で推移した。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、12月度はコロナ明けの昨年に比べクリスマス商材などの年末商戦は不調、忘年会シーズンの駐車場利用も低迷した。小売関係は、高額商品、低価格商品に動きが比較的あった一方、中価格帯が苦戦した。総じて仕入れ価格の高騰に加え、水道光熱費や人件費の経費負担増も個店の収益を圧迫している。消費者にとっては様々な価格高騰が家計を圧迫しており、消費マインドが低下している。商品や販売価格に転嫁することも難しく、転嫁すればかなりの確率で客離れを起こしている。特例で据え置きとなっていたコロナ融資の返済が迫るなど先行き不透明な状況が懸念される。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、降雪や大きな気温低下も無く天候には恵まれたものの、客足は伸びず低調な月となった。また、インフルエンザ、コロナ、マイコプラズマなどの感染者が多く、順調な師走商戦にはならなかった。春の鳥取県立美術館グランドオープンに向け、イベントを計画し街の活性化を図りたい。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、12月は元町クリスマスマーケットを初開催し、悪天候であったが2日間で約3000人の来場となった。米子市と連携し進めてきた元町パティオの整備が12月に完了。間接照明で夜間の景観も魅力的になり、出店者用の電源も完備されインフラ面の環境も整いイベント開催の利便性が向上した。引き続き広場の利用率増加に注力していく。

境港市の水産物小売では、12月は例年最も販売量・売上高・収益とも多い月であり、今年は昨年以上に店舗への来場者が多く訪れた。年末の28日から30日は施設の駐車場が足りない状況となったものの、一人当たりの客単価は昨年より若干減少となった。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、昨年に比べ降雪の日も少なく、年末は大型連休もあり入込数は増加した。砂丘でのイルミネーションが開催され、キッチンカーの出店もあったが、売上増加には大きく影響しなかった。

米子市のホテル・旅館では、天気予報に左右され遠方からの宿泊者のキャンセルが見受けられた。人材確保面では、依然として人手不足が続いている厳しい状況。

三朝温泉では、11月と比較すると予約数は大きく減少した。年末にかけてはほとんどの旅館で満室となり、忘年会の需要は変わらず多いが対応できる旅館が減ってきている。降雪の予報によりキャンセルが見受けられた。

羽合温泉では、12月の宿泊は前月比で約3割減少、前年同月比で同水準と

なった。年末年始が大型連休となり宿泊に偏りが出たものの、宿泊状況は例年並みとなった。

【自動車整備業】

⇒ 12月の新車販売は普通車・軽自動車を合わせて1,724台で対前月は普通車21.7%、軽自動車17.1%の減少、前年同月は普通車12.4%、軽自動車13.0%の減少であった。中古車は普通車・軽自動車を合わせて531台で対前月11.4%、対前年同月1.7%の減少であった。継続検査（軽自動車を含む）は13,501台で対前月6.6%、対前年同月1.9%の減少であった。

【建設業】

⇒ 11月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額35億円（前年同月比6.1%減）、件数112件（同15.5%増）となった。年度累計（令和6年4月～令和6年11月）は、請負金額757億円（前年同月比9.8%増）、件数1,447件（同14.0%増）となった。公共投資は単月では3か月ぶりの前年同月比プラス、年度累計もプラスが続く。設備投資は単月、3か月平均ともに前年同月比マイナスとなった。住宅投資は単月では前年同月比プラス、3か月平均はマイナスとなった。深刻な人手不足により受注量、採算、専門人材育成など様々に影響をきたしている。

11月の鳥取県新設住宅着工戸数は206戸（持家166戸、貸家40戸）で、前月比30%増加、前年同月比8%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 12月の物流は、製造業、建設建築関係の輸送量が順調で、全体の輸送量としては良好な動きとなった。荷物の不足傾向は徐々に解消され、運行の効率は改善されてきている。売上は前月比、前年同月比とも増加しているものの、慢性的なドライバー不足の問題に苦慮している。燃料価格や人件費などの高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしており、2024年問題の影響はまだまだこれからといった見方もある中で、今後も厳しい状況に変わりはない。特に、ガソリン補助金の段階的な縮小がさらなる追い打ちとなることが懸念される。

西部地区⇒ 12月は一部建設関連資材の運搬が堅調だったものの、農産物を中心に低调となった。燃料価格については、燃料油価格激変緩和補助金の段階的縮小に伴う増加のため大幅なコスト上昇を強いられることとなった。次月の燃料価格についても同様な措置が行われるため非常に厳しい状態が継続している。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・デジタルツールの導入支援のほか地方自治体との連携を進めるための技術支援、資金提供の拡充を望む。【印刷業】
- ・電気料金の値下げを望む。【金属熱処理業】
- ・景気対策として消費税減税、社会保障関連の負担軽減を図る政策を打ち出して欲しい。【商店街】
- ・地域活性化に対する支援を望む。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2023年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年	前年との 増減幅
売上高	製造業	26.3	-15.8	-10.5	-5.3	-15.7	-26.3	5.3	10.5	-36.9	42.0	26.3	-10.5	-5.2	-31.5	
	非製造業	-10.5	-36.8	15.8	57.9	-15.8	15.8	-31.6	15.7	31.5	-47.3	21.0	15.7	-5.3	5.2	
	全業種	7.9	-26.3	2.6	26.3	-15.8	-5.3	-13.1	13.2	-2.6	-2.6	23.7	2.6	-5.2	-13.1	
在庫数量	製造業	-31.6	0.0	-5.2	-10.5	-15.8	10.5	-5.2	21.1	-10.5	5.3	0.0	15.8	-15.8	15.8	
	非製造業	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	8.3	-8.3	0.0	16.7	-25.0	0.0	8.4	16.7	0.0	
	全業種	-12.9	0.0	0.0	-3.2	-3.2	9.7	-6.5	12.9	0.0	-6.4	0.0	12.9	-3.2	9.7	
販売価格	製造業	-5.2	5.3	10.5	5.2	0.0	-5.2	0.0	5.2	10.5	10.5	5.3	5.2	-5.2	0.0	
	非製造業	36.8	0.0	10.5	0.0	21.1	21.1	15.8	0.0	26.3	5.3	21.0	42.1	36.8	0.0	
	全業種	15.8	2.6	10.5	2.6	10.6	7.9	7.9	2.6	18.5	7.9	13.2	23.6	15.8	0.0	
取引条件	製造業	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	
	非製造業	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	-10.5	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	
	全業種	0.0	-2.6	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	0.0	-2.6	-2.6	2.6	2.6	0.0	0.0	
収益状況	製造業	10.5	-21.1	-15.8	-10.6	-21.1	-31.6	0.0	-5.3	-36.8	-15.8	-26.3	-42.1	-21.1	-31.6	
	非製造業	0.0	-31.5	15.8	31.6	-10.6	-5.3	-21.0	15.8	21.0	21.0	10.5	21.1	-5.3	-5.3	
	全業種	5.2	-26.3	0.0	10.6	-15.8	-18.4	-10.5	5.3	-7.9	-18.4	-7.9	-10.5	-13.2	-18.4	
資金繰り	製造業	0.0	-5.2	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	5.2	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-21.1	-21.1	-21.1	
	非製造業	-10.5	-26.3	0.0	15.8	-5.2	0.0	-15.8	0.0	15.8	-10.5	15.8	15.8	0.0	10.5	
	全業種	-5.2	-15.8	-10.6	2.6	-7.9	-5.3	-5.2	-5.2	5.3	-7.9	2.7	-2.6	-10.6	-5.4	
設備稼働率	製造業	15.8	-15.8	-5.3	0.0	-10.6	-10.6	5.3	-5.3	-31.5	0.0	5.3	-5.2	10.6	-5.2	
雇用人員	製造業	0.0	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	5.3	-5.2	-15.8	-10.5	-5.2	-5.2	-5.2	-5.2	
	非製造業	0.0	-15.8	0.0	15.8	5.3	10.5	-10.5	0.0	10.5	-10.5	0.0	5.3	10.5	10.5	
	全業種	0.0	-15.8	-5.3	2.6	0.0	2.6	-2.6	-2.6	-2.6	-10.6	-2.7	0.0	2.6	2.6	
景況	製造業	-10.5	-15.8	-26.3	-10.5	-15.8	-31.5	-15.8	-31.6	-26.3	-26.3	-26.3	-36.8	-31.5	-21.0	
	非製造業	0.0	-36.8	0.0	31.5	0.0	-5.3	-31.5	0.0	0.0	-21.1	0.0	15.8	-5.3	-5.3	
	全業種	-5.3	-26.3	-13.1	10.6	-7.9	-18.4	-23.6	-15.0	-13.1	-23.7	-13.1	-10.5	-18.4	-13.1	

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との 増減幅
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
売上高	製造業	-15.7	-15.8	-26.3	-42.1	-47.4	-31.6	-26.3	-26.3	-47.4	-21.1	-10.5	5.2	-15.8	-0.1
	非製造業	-15.8	31.6	47.4	-10.5	0.0	-5.2	-31.5	5.2	21.1	5.3	26.3	21.0	5.2	21.0
	全業種	-15.8	7.8	7.8	-26.3	-23.7	-18.4	-28.9	-10.5	-13.2	-7.9	7.9	13.2	-5.3	10.5
在庫数量	製造業	-31.6	-21.1	-15.8	-26.3	-10.5	-5.2	0.0	5.2	-15.8	-21.0	-15.8	0.0	-10.6	21.0
	非製造業	16.7	16.7	16.7	25.0	0.0	8.3	-8.4	-8.3	25.0	8.3	16.7	25.0	16.7	0.0
	全業種	-12.9	-6.4	-3.2	-6.4	-6.4	0.0	-3.2	0.0	0.0	-9.6	-3.2	9.7	0.0	12.9
販売価格	製造業	5.3	5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	26.3	15.8	0.0	-5.3	-10.6
	非製造業	47.3	42.1	47.3	52.6	47.4	47.4	31.6	26.3	42.1	36.8	42.1	57.9	57.9	10.6
	全業種	26.3	23.7	21.0	23.7	23.7	21.1	13.1	13.1	21.1	31.6	28.9	28.9	26.3	0.0
取引条件	製造業	-10.5	-15.8	-5.2	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-5.3	5.2
	非製造業	-5.2	-10.5	0.0	-15.8	0.0	-5.3	0.0	-10.5	-5.2	0.0	-10.5	0.0	-10.5	-5.3
	全業種	-7.9	-13.2	-2.6	-13.2	-5.3	-10.6	-5.2	-10.6	-7.9	-7.9	-10.6	-2.6	-7.9	0.0
収益状況	製造業	0.0	-26.3	-36.8	-21.1	-36.9	-42.1	-21.0	-26.3	-42.1	-26.3	-36.9	-26.3	-36.8	-36.8
	非製造業	-5.3	5.3	26.3	-10.5	-21.1	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	0.0	5.2	21.1	5.3	10.6
	全業種	-2.6	-10.5	-5.2	-15.8	-29.0	-36.9	-21.0	-18.4	-18.4	-13.2	-15.8	-2.6	-15.8	-13.2
資金繰り	製造業	-15.8	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-10.5	-10.5	-26.3	-15.8	-10.9	-10.5	-15.8	0.0
	非製造業	-5.3	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-31.5	-21.1	-10.5	-10.5	5.3	5.3	10.5	5.3	10.6
	全業種	-10.5	-15.8	-18.4	-21.1	-21.0	-26.3	-15.8	-10.5	-18.4	-5.2	-2.6	0.0	-5.3	5.2
設備稼働率	製造業	-10.5	0.0	-10.6	-21.1	-31.5	-26.3	-5.3	-21.0	-31.6	0.0	-5.3	0.0	-15.8	-5.3
雇用人員	製造業	-5.3	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	-15.8	-26.3	-10.6	-15.8	-31.5	-21.1	-21.0	-26.3	-21.0
	非製造業	-5.2	0.0	-5.2	5.2	-5.2	5.2	-15.8	5.2	5.2	5.2	5.3	0.0	5.2	10.4
	全業種	-5.3	-15.8	-15.8	-7.9	-7.9	-5.3	-21.0	-2.7	-5.3	-13.2	-7.9	-10.5	-10.5	-5.2
景況	製造業	-21.1	-31.6	-42.1	-21.1	-36.8	-31.6	-21.1	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-5.2
	非製造業	0.0	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-36.8	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	0.0	-5.2	-5.2	-5.2
	全業種	-10.5	-23.7	-26.3	-21.1	-28.9	-34.2	-26.3	-31.5	-31.6	-21.0	-18.4	-21.1	-15.8	-5.3

情報連絡員報告総括表(令和6年12月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

		売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
		増加	不変	減少	増加	不变	減少	上昇	不变	低下	好転	不变	悪化	好転	不变	悪化	好転	不变	悪化	上昇	不变	低下	好転	不变	減少	好転	不变	悪化	
食料品	1	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	2	0	
繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	0	2	1
木材・木製品	2	0	2	1	3	0	0	4	0	0	4	0	1	1	2	0	3	1	2	2	0	0	3	1	1	1	1	2	
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	
出版・印刷	1	1	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	
化学ゴム																													
窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	
鉄鋼・金属	0	1	0	1	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	0	2	0	1	1	0	1	0	2	
一般機器	0	1	2	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
輸送用機器																													
その他	19	4	10	5	1	14	4	1	16	2	0	19	0	2	11	6	0	15	4	4	13	2	1	16	2	1	11	7	
100%	21.1%	52.6%	26.3%	5.3%	73.1%	53.9%	21.1%	10.5%	84.2%	10.5%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	57.9%	31.6%	0.0%	78.9%	21.1%	21.1%	88.4%	10.5%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	57.9%	36.8%	
非製造業	1	5	0	0	5	1	2	4	0	0	6	0	0	6	0	0	6	0	0	6	0	0	6	0	0	1	5	0	
卸売業	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
小売業	2	2	0	2	2	0	1	3	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	3	1		
商店街	0	1	4		2	2		1	0	5	0	0	2	3	0	4	1	0	5	0	0	3	2						
サービス業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
建設業	1	0	1		1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	2	0	1	0	1		
運輸業																													
その他	19	5	8	6	3	7	1	8	10	1	0	19	0	2	14	3	1	17	1	1	17	0	3	12	4				
100%	26.3%	42.1%	31.6%	25.0%	58.3%	8.3%	42.1%	52.6%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	73.7%	15.8%	5.3%	89.5%	5.3%	10.5%	89.5%	0.0%	15.8%	0.0%	15.8%	63.2%	21.1%			
100%	38	9	18	11	4	21	5	9	26	3	0	38	0	4	25	9	1	32	5	4	13	2	3	33	2	4	23		
100%	23.7%	47.4%	28.9%	12.9%	67.7%	16.1%	23.7%	68.4%	7.9%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	65.8%	23.7%	2.6%	84.2%	13.2%	21.1%	68.4%	10.5%	5.3%	86.8%	5.3%	10.5%	60.5%	28.9%		

情報連絡員報告総括表(令和6年12月分)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

		売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
		増加	不变	減少	増加	不变	減少	上昇	不变	低下	好転	不变	悪化	好転	不变	悪化	好転	不变	悪化	上昇	不变	低下	増加	不变	減少	好転	不变	悪化
製造業	19	0	2	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	2	0
繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0
木材・木製品	1	1	2	1	3	0	0	3	1	0	4	0	0	2	2	0	3	1	1	3	0	0	3	1	0	2	2	
紙・紙加工品	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	
出版・印刷	1	1	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	
化学・ゴム																												
土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
鉄鋼・金属	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	2	1	0	1	0	0	2	0
一般機器	1	1	1	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	
電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
輸送用機器																												
その他	19	5	6	8	2	13	4	3	12	4	0	18	1	0	12	7	1	14	4	2	12	5	1	12	6	0	14	5
	100%	26.3%	31.6%	42.1%	10.5%	68.4%	21.1%	15.8%	63.2%	21.1%	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	63.2%	36.8%	5.3%	73.1%	21.1%	10.5%	63.2%	26.3%	5.3%	63.2%	31.6%	0.0%	73.7%	26.3%
非製造業	19	4	1	1	5	0	3	3	0	0	6	0	1	5	0	0	6	0	0	6	0	0	1	5	0	1	5	0
卸売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
小売業	0	3	1	1	3	0	2	2	0	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	2	2				
商店街																												
サービス業	3	1	1	1	4	1	0	0	4	1	2	1	2	3	0	1	4	0	2	2	1	1	0	0	1	0		
建設業	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0		
運輸業	1	0	1	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	0		
その他	19	5	10	4	2	9	0	11	8	0	17	2	4	12	3	3	14	2	2	16	1	4	10	5				
	100%	26.3%	52.6%	21.1%	16.7%	75.0%	0.0%	57.9%	42.1%	0.0%	89.5%	10.5%	21.1%	63.2%	15.8%	15.8%	73.7%	10.5%	10.5%	84.2%	5.3%	21.1%	52.6%	26.3%				
	38	10	16	12	4	22	4	14	20	4	0	35	3	4	24	10	4	28	6	2	12	5	3	28	7	4	24	10
	100%	26.3%	42.1%	31.6%	12.9%	7.0%	12.9%	36.8%	52.6%	10.5%	0.0%	92.1%	7.9%	10.5%	63.2%	26.3%	7.9%	13.7%	18.4%	10.5%	63.2%	26.3%						